

Title	大野英二 教授・略歴・著作目録 (大野英二教授記念號)
Author(s)	
Citation	經濟論叢 (1985), 136(4): 498-506
Issue Date	1985-10
URL	https://doi.org/10.14989/134098
Right	
Type	Departmental Bulletin Paper
Textversion	publisher

經濟論叢

第136卷 第4号

大野英二教授記念號

献 辞	山 田 浩 之	
J. ハーバースマスにおける批判的社会理論の 倫理的基盤	平 井 俊 彦	1
競争・独占・独占禁止法	越 後 和 典	22
1932年のアエツリ提言をめぐる覚書	丸 山 優	39
19世紀末ドイツのオリエント認識	杉 原 達	60
第一次大戦期ドイツにおける住宅政策の展開	後 藤 俊 明	80
日中戦争前中国安徽省における茶統制政策	川 井 悟	111
リッカートとランプレヒト論争	奥 田 隆 男	130
中世イングランドの鑄貨	本 山 美 彦	149

大野英二 教授 略歴・著作目録

昭和60年10月

京都大學經濟學會

大野英二 教授 略歴

- 1922年10月20日 愛知県(名古屋市西区本重町6丁目6番地)に生まる
- 1935年3月 菅原尋常小学校卒業
- 1940年3月 愛知県第一中学校卒業
- 4月 第八高等学校文科乙類入学
- 1942年9月 同校卒業
- 10月 京都帝国大学経済学部入学
- 1945年9月 同学士試験合格
- 9月 京都帝国大学大学院入学(蟻川虎三教授の指導を受く)
- 1946年10月 同大学院退学
- 10月 京都帝国大学助手, 経済学部勤務
- 11月 立命館専門学校工学科非常勤講師(工業経営学担当 1948年1月まで)
- 1950年1月 京都大学講師, 経済学部勤務
- 6月 京都大学助教授, 経済学部勤務
- 1953年4月 京都大学大学院経済学研究科担当
- 1954年4月 京都大学大学院工学研究科担当
- 4月 成安女子短期大学非常勤講師(経済学概論担当 1956年3月まで)
- 1956年7月 高知大学文理学部非常勤講師(工業経済論集中講義担当)
- 1959年1月 高知大学文理学部非常勤講師(同上)
- 1961年11月 経済学博士の学位を受く(経第58号), 学位論文「ドイツ金融資本成立史論」
- 1964年4月 京都大学法学部非常勤講師
- 1965年4月 神奈川大学経済学部非常勤講師(工業経済論担当, 1966年3月まで)
- 10月 土地制度史学会評議員(現在に至る, 1974年2月から1982年1月までの間は同理事)
- 1966年1月 京都大学教授, 経済学部勤務, 経済政策講座担任
- 1月 京都大学学生部委員(1966年9月まで)
- 4月 同志社大学経済学部非常勤講師(外国経済事情担当 1967年3月まで)
- 7月 京都大学評議員・大学院審議会審議員(1968年3月まで)
- 11月 東京大学経済学部非常勤講師(同大学院経済学研究科授業担当, 特殊講義ドイツ資本主義論 1967年3月まで)
- 1968年3月 日本経済政策学会理事(現在に至る)
- 3月 ドイツ連邦共和国, フランス国, 連合王国およびイタリア国へ出張(1969年2月まで, 主にミュンヘンに滞在)

- 1968年11月 日独文化研究所評議員（現在に至る）
- 1969年10月 京都大学附属図書館商議会商議員（1971年1月まで）
- 1970年9月 岡山大学法文学部非常勤講師（ドイツ資本主義論集中講義担当）
- 1971年1月 京都大学経済学部長，京都大学評議員併任（1972年1月まで）
- 1973年4月 東北大学文学部非常勤講師（同大学院文学研究科授業担当，西洋史集中講義 1974年3月まで）
- 5月 京都大学附属図書館商議会商議員（1975年5月まで）
- 9月 岡山大学法文学部非常勤講師（ドイツ資本主義論集中講義担当）
- 1974年4月 立命館大学経済学部非常勤講師（経済政策担当 1975年3月まで）
- 1975年2月 名古屋大学法学部非常勤講師（同大学院法学研究科授業担当，政治史集中講義）
- 6月 ドイツ連邦共和国へ出張（ドイツ学術交換局の招聘により9月下旬まで3カ月間，主にケルンに滞在）
- 1976年5月 京都大学創立70周年記念後援会評議員（1983年6月まで，1980年6月から1983年6月までの間は同理事）
- 1977年1月 京都大学評議員・大学院審議会審議員（1977年7月まで）
- 7, 9月 東北大学経済学部非常勤講師（経済政策総論集中講義担当）
- 9月 岡山大学法文学部非常勤講師（ドイツ資本主義論集中講義担当）
- 1978年6月 ドイツ連邦共和国へ出張（ビーレフェルト大学学際研究センターの招聘により第6回ビーレフェルト現代社会史研究集会へ参加，約1カ月間主にビーレフェルト，ミュンヘン，フライブルクに滞在）
- 9, 12月 東北大学経済学部非常勤講師（経済政策総論集中講義担当）
- 1979年5月 社会経済史学会評議員（現在に至る）
- 9月 東北大学経済学部非常勤講師（経済政策総論集中講義担当）
- 1980年1, 2月 愛媛大学法文学部非常勤講師（西洋経済史集中講義担当）
- 7月 東北大学経済学部非常勤講師（経済政策総論集中講義担当）
- 8, 9月 愛媛大学法文学部非常勤講師（西洋経済史集中講義担当）
- 1981年4月 京都大学評議員・大学院審議会審議員（1983年3月まで）
- 1983年8月 ドイツ連邦共和国へ出張（9月下旬まで1カ月間主にコブレンツ，ミュンヘン，ビーレフェルトに滞在）
- 1984年10月 愛媛大学法文学部非常勤講師（西洋経済史集中講義担当 1985年3月まで）
- 1984年10月 名古屋大学法学部非常勤講師（同大学院法学研究科授業担当，政治史集中講義 1985年3月まで）

大野英二 教授 著作目録

著 書			
ドイツ金融資本成立史論	有 斐 閣		1956年 1 月
ドイツ資本主義論	未 来 社		1965年 9 月
現代ドイツ社会史研究序説	岩 波 書 店		1982年 5 月

共(編) 著			
現代の経済と統計(蜷川虎三先生古稀記念論文集編集委員会編) 〔論文「ケアのドイツ帝国主義分析の基礎視点」寄稿〕	有 斐 閣		1968年 5 月
経済学史(経済学全集 3 内田義彦他と共著) 〔第二章 類型・「国民経済」の歴史と理論〔I〕担当〕	筑 摩 書 房		1970年 6 月
ドイツ資本主義の史的構造(住谷一彦・諸田実と共編) 〔論文「四か年計画と経済政策の転換」寄稿〕	有 斐 閣		1972年 3 月

論 文			
改良主義の窮乏化理論	経 済 論 叢 第63巻第3・4号 (岸本英太郎編『資本主義と貧困』日本評論社に再録)		1949年 4 月
ドイツ金融資本の構造的特質(一)	経 済 論 叢 第67巻第 6 号		1951年 6 月
ドイツ独占資本とベルリン六大銀行 ードイツ金融資本の構造的特質(二ー)	経 済 論 叢 第71巻第 1 号		1953年 1 月
ドイツ帝国主義と経済政策	経 済 論 叢 第73巻第 1 号		1954年 1 月
ドイツ帝国主義と「結集政策」	経 済 論 叢 第75巻第 4 号		1955年 4 月
ドイツ帝国主義と財政改革問題	経 済 論 叢 第79巻第 5 号		1957年 5 月
帝政ドイツの性格規定について	『世界史大系13 帝国主義と第一次世界大戦』月報第 5 号 誠文堂 新光社		1958年 2 月
占領政策とルール重工業の再編過程	宮田喜代蔵・藤田敬三編『日本経済政策の展開』関書院		1958年 5 月
ルール炭鉱労働力の存在形態	経 済 論 叢 第82巻第 3 号		1958年 9 月
産業資本と銀行資本	有沢広巳・小掠広勝・都留重人・豊崎稔・名和統一・松井清編『現代資本主義講座』第 3 巻 東洋経済新報社		1958年12月

- | | | |
|--|---|--------------------|
| 危機の社会的基盤 | 金子武蔵・大塚久雄編『講座 近代思想史』第6巻「危機の時代」弘文堂 | 1959年5月 |
| ルール石炭鉱業と労働問題 | 『京都大学経済学部創立40周年記念経済学論集』同学部刊 | 1959年5月 |
| 独占資本の形成 | 村瀬興雄・富永惣一編『図説 世界文化史大系』第10巻「ヨーロッパ近代」角川書店 | 1959年9月 |
| オーベル・シュレージエン製鉄業の創出過程 | 経済論叢 第85巻第5号 | 1960年5月 |
| ベルリン機械工業における労働関係(一) | 経済論叢 第88巻第6号 | 1961年12月 |
| ベルリン機械工業における労働関係(二) | 経済論叢 第89巻第1号 | 1962年1月 |
| 日本の独占 | 『玉川百科大辞典22 経済』月報第22号 誠文堂新光社 | 1961年12月 |
| 最近の帝国主義論—ハルガルテン— | 赤松要・堀江薫雄・名和統一・大来佐武郎監修『講座 国際経済』第5巻「帝国主義と後進国開発」有斐閣 | 1962年6月 |
| レーニンの「ユンカー的=ブルジョア的」範疇規定について—ドイツ資本主義分析視角の再検討—(住谷一彦と共同執筆) | 土地制度史学 第17号 | 1962年10月 |
| オーベル・シュレージエン製鉄業の再編過程—大貴族経営の類型的特質— | 経済論叢 第91巻第3号 | 1963年3月 |
| ライン・ヴェストファーレン製鉄業における「混合企業」の創出(一) | 経済論叢 第92巻第6号 | 1963年12月 |
| ライン・ヴェストファーレン製鉄業における「混合企業」の創出(二) | 経済論叢 第93巻第1号 | 1964年1月 |
| ドイツ資本主義分析と「資本類型」—ドイツ・ブルジョアジーの類型的把握によせて—(上)(下)(住谷一彦と共同執筆) | 思想 第476号
第488号 | 1964年2月
1965年2月 |
| 転換期のドイツ経済政策— 結集政策」と自由思想連合— | 歴史学研究 第291号 | 1964年8月 |
| 独占資本の成立と経済政策 | 山中篤太郎・豊崎稔監修、野田稔・加藤寛・中村秀一郎・大野英二・新野幸次郎編集『経済政策講座』第2巻「経済政策の史的展開」有斐閣 | 1964年12月 |
| ドイツ石炭鉱業における貨銀形態 | 経済論叢 第95巻第1号 | 1965年1月 |
| ドイツにおける帝国主義論の展開—「資本類型」とヒルファードینگ『金融資本論』の理論構成— | 内田義彦・小林昇・宮崎義一・宮崎厚一編『経済学史講座』第3巻「経済学の展開」有斐閣 | 1965年5月 |
| ドイツにおける独占形成(肥前栄一と分担執筆) | 『社会経済史学』創刊30周年記念特集号「最近10年間における社会経済史学の発達」第31巻第1～5号合併号 | 1966年2月 |

- 『帝国主義論』成立の歴史的背景 宇佐美誠次郎・宇高基輔・島恭彦編 『マルクス経済学体系』第3巻 「帝国主義論」有斐閣 1966年9月
- ドイツ資本主義の歴史的段階—ヒスマルク・レジームの性格規定— 土地制度史学 第46号 1970年1月
- 帝制ドイツの社会構成の性格規定—「資本類型」論の展開のために— 社会科学の方法 第3巻第2号 1970年3月
- ヒルファーディングとシュトラッサー 経済論叢 第105巻第1・2・3号 1970年3月
- ドイツ・ファシズムの社会的基盤 経済論叢 第105巻第4・5・6号 1970年6月
- ビヒモス—ナチス・レジームの性格 杉原四郎・尾上久雄・置塩信雄編 『経済像の歴史と現代』有斐閣 1970年9月
- 新興財閥の思想 長幸男・住谷一彦編集『近代日本経済思想史』II 有斐閣 1971年3月
- 転換点に立つルール重工業 経済論叢 第111巻第4号 1973年4月
- 河上肇の「非社会主義論」 河上肇『社会問題研究』復刻版 第1巻月報 社会思想社 1974年11月
- ナチスの農業綱領 経済論叢 第115巻第1・2号 1975年2月
- 「組織資本主義」論の問題点—比較社会史の研究動向— 思想 第625号 1976年7月
- 初期河上における比較の視座 評論 第23号 1979年2月
- プロイセン・ドイツの近代化と地方自治—領地区域とその解体—(1)(2) 経済論叢 第123巻第4・5号 1979年5月
第123巻第6号 1979年7月
- 組織資本主義論の新展開 経済評論 第28巻第7号 1979年7月
- 初期河上における経済政策論—輸入米課税をめぐる— 経済論叢 第124巻第5・6号 (河上肇生誕100年記念号) 1979年12月
- ドイツにおける比較社会史の形成 河野健二編『ヨーロッパ—1930年代』岩波書店 1980年8月
- 河上肇に関する最近の文献 エコノミスト 第59巻第17号 1981年4月28日
- ヴェーラー『ドイツ帝国』をめぐる争点—西ドイツにおける社会史研究の問題状況— 歴史と社会 第1号 1982年10月
- 「第三帝国」におけるテクノクラートの役割—シュペーアと戦争経済の再編成— 歴史と社会 第3号 1983年11月
- ダンツィヒ自由市とユダヤ人問題 歴史と社会 第6号 1985年7月

欧文論文

German Economic Policy in Transition—
The Policy of Uniting versus Radical
Union

The Kyoto University Vol. 35, No. 1,
Economic Review Apr. 1965.

- The Historical Stage of German Capitalism—An Analysis of the Bismarck Regime
The Kyoto University Economic Review Vol. 40, No. 2, Oct. 1970.
- The Social Basis of Nazism
The Kyoto University Economic Review Vol. 42, No. 1-2, Apr.—Oct. 1972.
- Japanische Forschungen (1945-1975) zur neueren deutschen Sozial- und Wirtschaftsgeschichte
Die moderne deutsche Geschichte in der internationalen Forschung 1945-1975, hrsg. von Hans-Ulrich Wehler (Geschichte und Gesellschaft, Sonderheft 4), Göttingen 1978.
- Modernization and Local Self-Government in Prussian Germany—Gutsbezirke (manorial districts) and their Dissolution
The Kyoto University Economic Review Vol. 50, No. 1-2, Apr.—Oct. 1980.

編集・解題

- 山中篤太郎・豊崎稔 監修, 野田稔・加藤寛・中村秀一郎・大野英二・新野幸次郎 編集
『経済政策講座』全四巻, 有斐閣 1964年4月—12月
- 松田智雄『新編「近代」の史的構造論』解説, 『「近代」の史的構造論』の構成と展開
ベリかん社 1968年7月
- Katalog der Karl Bücher Bibliothek in der Wirtschaftswissenschaftlichen Fakultät der Universität Kyoto, Kyoto 1970. (ビューーヒャー文庫目録の作成は高橋俊哉はじめ京大経済学部図書室ならびに資料室の共同作業によるもの)
- ハンス・ウルリヒ・ヴェーラー「ドイツ帝国主義 1871-1918」早島英訳, 大野英二解題
思想 第636号 1977年6月
- ハンス・ウルリヒ・ヴェーラー「ボナパルティズムとビスマルク・レジーム」大野英二・早島英訳, 大野英二解題 思想 第644号 1978年2月
- 末川博監修, 杉原四郎・大野英二・住谷一彦・平井俊彦・一海知義・松尾尊兪・山之内靖編集『河上肇全集』全36巻〔第I期 28巻 第II期 7巻 別巻1〕岩波書店 第I期 1982年1月—1984年9月完結 第II期 1984年12月以降現在まで5巻刊行(そのうち1・3・4・16巻の解題執筆)
- 内田芳明・上山安敏・大野英二・長幸男・中山茂・松本三之介・宮崎犀一 編集『歴史と社会』リプロポート(年2回刊, 1982年10月創刊号, 6号まで既刊)

翻 訳

- ヘルムート・ペーメ『現代ドイツ社会経済史序説』(藤本建夫と共訳) 未 来 社 1976年6月
- ハンス・ローゼンベルク『ドイツ社会史の諸問題』(川本和良・大月誠と共訳) 未 来 社 1978年1月

- ハンス・ウルリヒ・ヴェーラー『ドイツ帝国 1871-1918』（肥前栄一と共訳） 未 来 社 1983年5月
- ハンス・ウルリヒ・ヴェーラー「ケーア」（ヴェーラー編『ドイツ現代史研究会訳『ドイツの歴史家』第5巻所収） 未 来 社 1985年3月

辞 典

- 『経済学事典』 企業集中関係項目若干 平 凡 社 1954年6月
- 『大人名事典』第7-8巻 外国編 I-II
ジューメンズ、ヒルファーディング、プライヒレナー、ベアリング家、ホブスン、ラーテナウ、ロスチャイルド家、その他 平 凡 社 1954年9-11月
- 福武直・日高六郎・高橋徹編『社会学辞典』ドイツの労働運動 有 斐 閣 1958年5月
- 大阪市立大学経済研究所編『経済学辞典』独占資本—ドイツ 岩 波 書 店 1965年9月
- 大阪市立大学経済研究所編『経済学辞典』第2版 独占資本—ドイツ、ジューメンズ 岩 波 書 店 1979年6月
- 社会科学大事典編集委員会編集『社会科学大事典』第13巻
ドイツ〔経済〕 鹿 島 出 版 会 1970年4月
- 『万有百科大事典』12「経済 産業」
ドイツ経済事情 小 学 館 1975年6月

書 評

- ハルガルテン『1914年以前の帝国主義』 経 済 評 論 第3巻第4号 1954年4月
- J. クチンスキー『ドイツ経済史』高橋正雄・中内通明訳、有斐閣 日 本 読 書 新 聞 1954年12月13日
- 松田智雄編 大塚久雄他『巨宮への道』中央公論社 図 書 新 聞 1955年9月10日
- 篠原一『ドイツ革命史序説』岩波書店 西 洋 史 学 第34号 1957年5月
- J. クチンスキー『戦後西ドイツの政治と経済』宇佐美誠次郎・良知力・池田優三訳、未来社 週 刊 読 書 人 1959年12月14日
- 戸原四郎『ドイツ金融資本の成立過程』東京大学出版会 図 書 新 聞 1960年7月30日
- A. シュレーター・W. ベッカー『産業革命期のドイツ機械工業』 日本経済政策学会編『地域開発と経済政策』（日本経済政策学会年報XII） 1964年5月
- 高橋幸八郎編『産業革命の研究』岩波書店 史 学 雑 誌 第74編第11号 1965年11月

- ベンディクス『マックス・ウェーバー』
折原浩訳, 中央公論社 日本読書新聞 1967年1月23日
- G. W. F. ハルガルデン『帝国主義と現代』西川正雄・富永幸生・鹿毛達雄編訳, 未来社 世界経済評論 第2巻第8号 1967年8月
- 住谷一彦『リストとウェーバー』未来社 エコノミスト 第47巻第36号 1969年8月19日
- 吳天隆『アメリカ金融資本成立史』有斐閣 東洋経済 第3625号 1971年10月2日
- 熊谷一男『ドイツ帝国主義論』未来社 日本読書新聞 1973年7月23日
- 柳沢治『ドイツ三月革命の研究』岩波書店 社会経済史学 第41巻第1号 1975年5月
- J. コッカ『戦時の階級社会—ドイツ社会史 1914—1918』 経済論叢 第116巻第5・6号 1975年12月
- 斎藤晴造『ドイツ銀行史の研究』法政大学出版局 エコノミスト 第55巻第19号 1977年5月10日
- 木谷勤『ドイツ第二帝制史研究』青木書店 歴史学研究 第450号 1977年11月
- 杉原四郎・一海知義『河上肇』新評論 週刊ポスト 1980年2月29日
- 岡田与好編『現代国家の歴史的派流』東京大学出版会 エコノミスト 第61巻第36号 1983年9月6日
- 栗原優『ナチズム体制の成立』ミネルヴァ書房 社会経済史学 第49巻第5号 1984年4月
- 川本和良・箸方幹逸・高橋哲雄・大月誠・肥前栄一編集『比較社会史の諸問題』〔大野英二還暦記念論文集〕(未来社 1984年)を訳す 乱 反射 第7号 1984年5月
- シモン 乱 反射 第8号 1985年6月
- 藤本建夫『ドイツ帝国財政の社会史』時潮社 週刊読書人 1985年7月22日
- O. ヤイデルス著長坂聡訳『ドイツ大銀行の産業支配』勁草書房 社会経済史学 第51巻第2号 1985年7月

その他

- 島恭彦監修, 大野英二・行沢健三共著『経済安定九原則に就て』 島根県公報局(公報資料 第1号) 1949年5月
- ルール重工業とシューマン・プラン 学園新聞 1952年11月24日
- 『ドイツ金融資本成立史論』について Books No. 70 1956年2月
- トリアーへの旅 岩波講座『世界歴史』 第25巻月報 1970年8月
- ミュンヘンの反体制運動 ちくま 1971年1月

ナチズムの問題	朝日新聞(夕刊)	1974年1月12日
ヴェーラー教授の研究集会	経済論叢 第119巻第4・5号	1977年5月
東ベルリンの熊谷さん	現代史研究会『通信』 第4巻第1号	1977年
コッカ教授の研究集会	経済論叢 第123巻第3号	1979年3月
思想の言葉(「マックス・ウェーバー —没後60年」特集)	思想 第674号	1980年8月
人間のなかのX—遠藤周作『異邦人の 立場から』(日本書籍)	経済セミナー 第312号	1981年1月
組織資本主義の地平(玉垣良典と対談)	経済評論 第30巻第1号	1981年1月
河上肇先生と蜷川虎三先生(蜷川先生 を追悼して)	『昭友会報』	1981年12月
第三卷余話「千山万嶽楼主人の雅号」 (特集「河上肇全集」)	『東京河上会会報』第49号	1982年3月
想い出・断片	『山田盛太郎著作集』月報3 岩波書店	1984年3月